

消 第77回福島県消防協会伊達支部幹部大会 防人規範として団員を表彰

第77回福島県消防協会伊達支部幹部大会が6月14日、伊達市ふるさと会館で行われました。

当日は、消防関係者・団体など約400人が参加しました。消防活動に貢献した団員に対し各種表彰が行われ、42人の町消防団員が表彰されました。出席した団員は、新たな消防の知識と技術の研さんに努めるとともに、有事即応の活力ある消防防災体制を目指し、町民の信頼に応えられるよう決意を新たにしました。



▲高橋優部長（右）が受賞者を代表して謝辞を述べました

水 漏水緊急補修技術講習会 道管施行技術の向上へ

桑折町管工事組合主催による「漏水緊急補修技術講習会」が6月30日、ふれあい公園内ピーチウイングにて行われ、組合員20人が参加しました。

本講習では、東日本大震災時に遠方より迅速な部材供給で復旧を支えてくださった、株式会社川西水道機器の横井和弘様・山口瑛様を講師として招き、漏水補修用部材の特性や、確実な施工手順について実践的な指導を受け、正確な施工技術の再確認を行いました。

講習後、講師の2人は町長を訪問。町長からは、震災時における多大なる支援・協力に対し、改めて深く感謝の意が伝えられました。



▲参加した組合員たちは真剣に講習内容に耳を傾けました

実 町消防団第4分団ポンプ中継送水訓練 践的な訓練で技術の向上へ

町消防団第4分団主催のポンプ中継送水訓練が7月5日、半田山自然公園で行われ、団員約50人が参加しました。

訓練では、伊達地方消防組合中央消防署西分署の職員を講師に向かえ、実際に半田沼から取水し、高低差による水圧低下や中継時の圧力調整などについて指導を受けながら、半田沼から駐車場までホース約20本を使い、ポンプ4台を中継して送水・放水しました。また、近年、全国で山火事が多く発生していることを受け、背負い式水囊（ファイヤーハンター）の使用法についても訓練しました。



▲消火の基本技術の確認や、更なる技術の向上に努めました

わ 桑折自治協・老人クラブ合同講演会 が身を守るためにできること

桑折地区住民自治協議会と桑折町老人クラブ連合会による合同講演会が7月9日、イコーゼで行われました。当日は71人が参加し、福島北警察署桑折分庁舎の署員から巧妙化する特殊詐欺への対応策や交通事故の未然防止についての講話がありました。また、町生活環境課職員から、今年5月に運用開始された新しい防災気象情報や、4月から始まった自転車の「青切符」制度について詳しく説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。参加者は、改めて詐欺や事故に遭わないため、また、災害からわが身を守るための心構えを新たにしました。



▲詐欺被害にあわないよう、講話を真剣に傾聴する参加者たち